



組合員の期待に応えるために

コープデリグループは、組合員に信頼される職員育成を目指し、すべての職員が共有すべき「行動指針」を定めています。行動指針に沿った素晴らしい行動に対して、職員が職場の仲間へ「イネッ!!カード」を送る取り組みを進めています。

行動指針をより深く理解するために、日常の実践事例に光をあて、模範となるような事例を毎年表彰しています。



行動指針

組合員のくらしと未来のために組合員の立場に立って

安心と信頼

組合員の「安心」を広げるため、安全な商品の提供、確かな品質のサービスなどを心がけ、「信頼」を築いていきます。

挑戦と学び

組合員のくらしの変化をみつめ、何ができるかを自ら考え、「挑戦」します。常に「学び」、自らを磨き、さらに能力を高めます。

コミュニケーションと感謝

相手の立場に立ち「コミュニケーション」を重ね、思いやりと「感謝」の心で行動します。仲間と率直に話しあい協力しあいます。

を大切にします。



大賞
団体

2016年度 行動指針表彰 大賞・入賞事例
コープみらい さいたま介護センター 訪問介護チーム

「安楽」だけが介護の目的ではない

ベッド側臥位→端座位→車椅子移乗、という移動を毎日行うご利用者が、端座位に起こす際に膝の痛みを訴えます。ある日、ご家族から、ベッドのギャッジアップ機能を使って体を起こしてほしいと、やり方の変更について提案がありました。「その方が、痛みが少なく、本人が楽だから」と。何の疑問もなく、ギャッジアップで体を起こし、体の向きを変更するやり方に切り替えました。ところがサービス責任者は違いました。本人の能力を生かし、リハビリにつながる為には、今までどおりのやり方がベストであると、担当の理学療法士に確認し、ご家族にもきちんと説明し、現状に戻しました。「安楽」だけが介護の目的ではないと気付きを得られた一件でした。

日々の業務の中で、ご本人の安楽やご家族の意向に流されてしまいがちですが、自立支援の観点を持ち、リハビリにつながるケアを行えるように各所に働きかけたサービス責任者や、そのことに気付けたヘルパーともにすばらしいと思います。

職員同士のつながり・チャレンジ精神を応援し、人材育成に生かします

人材育成 プログラム

職員一人ひとりが自分の今後のキャリアを考え、「マイキャリア面接」を通じて、中・長期的な働き方の方向性を上司と共有化しアドバイスを受けます。

自己啓発

チャレンジ精神あふれる職員の成長を応援するため、自己啓発機会を数多く提供しています。通信教育の受講料補助や自己啓発表彰を行っています。

通信教育講座

業務遂行に必要な不可欠な知識や自身のスキルアップのための講座を160以上開設しています。

自己啓発表彰

「販売士」「簿記」「語学」「介護」等、52の資格に対し表彰金や受験料補助を実施しています。

オープンミーティング

普段働いている職場の枠を取り払った職員交流を進めています。

2017年度は役員による中期計画の到達点報告の後、働く職員同士が部署を超えて「コープのファンづくり」をテーマにワークを行いました。50回開催され1,204人参加がありました。